

馬飼養衛生管理に関する委員会・講習会を開催しました

馬の飼養衛生管理に必要な情報や知識の習得を図り、地域における馬自衛防疫体制を確立するため、令和7年11月11日(火)、ミライ on 図書館(大村市)において、馬飼養関係者を対象とした委員会及び講習会を開催しました。

委員会では、昨年度事業実績と今年度事業計画(案)について協議するとともに、獣医療実態調査票や馬健康手帳などの印刷物を配布し、記入方法や活用方法に関する説明をはじめ、ワクチン接種(馬インフルエンザ、馬鼻肺炎など)推進のため、馬疾病の発生状況やワクチン接種の必要性などに関する情報提供を行いました。

また、鹿児島大学での馬臨床実習へ参加された九十九島動植物園森きらの河合先生から研修内容の伝達があり、南高愛隣会ホースセラピー研究センターの絢野先生からは「One Welfare 南高愛隣会の馬介在療育」について紹介がありました。

その後、講習会では、日本中央競馬会馬事部の村瀬先生から「馬のワクチンプログラム、高齢馬の管理及びフットケア」について講演が行われました。

「高齢馬の管理」では、加齢に伴う変化(消化機能や免疫機能の低下、筋量の減少、関節炎、呼吸器・眼科・歯科疾患など)について説明があり、高齢馬における給餌の留意点や放牧管理、厩舎管理、健康管理のポイントなどについて解説していただきました。また、タブー視されがちな馬の安楽死に関する考え方、海外のガイドラインについても紹介いただきました。



講習会



委員会



日本中央競馬会 村瀬先生

「フットケア」では、蹄病の発生予防のため、日常のチェックポイントやフットケアのポイントなどについてお話があり、馬管理者と装蹄師、獣医師の3者の連携が「強い馬づくりに大切」とのお話がありました。

講演後も村瀬先生への質問が相次ぎ、講習会は盛況のうちに終了しました。